

平成30年度予算見積調書

課室名：産業支援課
 担当名：技術支援担当
 内線：3777

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B26	新技術・新製品開発のためのデザイン力強化事業			一般会計	商工費	商工業費	産業技術総合センター費	産業技術総合センター運営費	
事業期間	平成29年度～平成31年度	根拠法令	なし				宣言項目	08 稼ぐ力の向上	
							分野施策	040832 変化に向き合う中小企業と小規模事業者の支援	
1 事業概要 中小企業においては、優れた技術を持っていても、それを売れる製品に仕立てるデザイン力（企画から開発、製品化、販売まで、一連の製品開発をプロデュースする力）がなく、売上げに繋がっていないケースが多い。 産業技術総合センターにおける、これまでのデザイン支援（製品開発支援）実績は、県内企業から高い評価を得てきたが、今後数年のうちにデザイン職員が不在となるため、デザイン支援機能の減退が懸念される。 本事業は、国の中小企業支援施策や全国公設試における「デザイン支援」重視の動向も踏まえ、引き続き同センターにデザイン支援グループを設置し、県内中小企業等のデザイン力を強化しようとするものである。 (1) デザイン力強化事業 12,115千円				5 事業説明 (1) 事業内容 産業技術総合センター事業化支援室に、商品企画・デザイン力を具備し市場動向に機敏に対応できる資質を持ったデザイン職員を配置し、県内ものづくり中小企業の製品開発を総合的に支援するとともに、中小企業内に高度なデザイン力を持つ人材を育成する。 <デザイン支援グループの役割> ・新製品開発支援 ・人材育成支援 ・相談指導（デザイン相談・指導） ・普及啓発（セミナー、情報発信） (2) 事業計画 ア 相談・支援体制の強化 産業技術総合センターにデザイン支援グループを設置し、デザイン支援担当職員2名（非常勤）を配置。デザイン支援員として職員のノウハウを継承しながら企業のデザイン開発を支援。 イ 支援事業（中小企業のデザイン力を強化） (ア) 新製品開発支援（目標：10件） 共同開発・受託研究、次世代ものづくり製品開発支援事業への参画、埼玉オリジナルブランドの開発 (イ) 商品企画デザイン塾の開催（目標：1回（5コース、13日間））、セミナー開催（目標：2回） (ウ) 相談会等の実施（目標：4回）、Web、SNS等によるデザイン情報発信 (3) 事業効果 ア デザイン人材が不足するものづくり中小企業の製品開発機能を補完できる。 イ ものづくり中小企業内に、高度なデザイン力を持つ人材を育成できる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 (公社) 埼玉デザイン協議会、民間のデザイナー及び他の都道府県のデザイン職員との連携を保ちながら、中小企業における市場性のある商品開発に取り組んでいく。 (5) その他 昨年度からの変更点 企業のニーズに応じたセミナー内容の見直しを行うとともに、参加者負担のスキームを見直した。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 地方交付税措置あり 産業技術総合センター費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.3人＝12,350千円									
財 源 内 訳									
予算額		繰入金	諸収入					一般財源	前年との対比
決定額	12,115	10,189	1,926					0	1,033
前年額	11,082	10,060	1,022					0	